



ジューンベリー  
(バラ科) ①

和名はセイヨウザイフリボクで、果実を6月に収穫できます。

ネジキ  
(ツツジ科) ②

下向きに一列に並んだ壺型の白い花を多数つけます。



ソシンロウバイ  
(ロウバイ科) の実④

現在たくさんの実をつけていますが、熟すと黒くなります。中に種子が入っています。



カラタネオガタマ  
(モクレン科) ⑤

花が咲くと辺りにバナナのような香りが漂います。



スイカズラの葉の変異  
(写真2枚) ⑩

つる性の低木で、園内各所で見られます。写真のとおり葉の形に変異が多いのが特徴です。なお、スイカズラの花の写真は、令和6年5月下旬の「みどころ」に掲載しています。



# みどころ Mikiyama

令和6年6月上旬

ネジキ②、ヘビイチゴ⑨、スイカズラ⑩、は園内各所で見られます。

ヒナキキョウソウが咲いています⑬

カキツバタが咲いています⑫

ヤマボウシの花が咲いています⑦

エルサレムセージ  
(シソ科) ⑥

初夏から9月にかけて黄色い花を咲かせる常緑の低木です。



ヤマボウシ  
(ミズキ科) ⑦

今シーズンは花の数が少な目です。

ツルアリドオシ  
(アカネ科) ⑪

常緑のツル性の多年草で、茎の先に2個の花が並んでつきます。



タツナミソウが咲いています⑧

ソシンロウバイの実が見られます④

エルサレムセージが咲いています⑥

カラタネオガタマが咲いています⑤

ツルアリドオシの花が咲いています⑪

三木山森林公園 検索  
カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります



ババシロアシマルハバチ  
(ハバチ科) の幼虫③

ガマズミ科のゴマギの葉に白い綿毛の様なものがたくさん付いています。よく見ると、白い綿毛をまとっているのは可愛い顔をしたハバチの幼虫でした(写真の右端に顔、目、口が見えます)。

タツナミソウ(シソ科) ⑧



漢字では「立浪草」と書き、紫色の花を波頭に見立てた名前です。



ヘビイチゴ(バラ科) の花と実⑨

黄色い花も赤い実も良く目立ちます。



カキツバタ  
(アヤメ科) ⑫

5月～6月頃に紫色の花をつけます。花びらの中央部分が白という特徴があります。



ヒナキキョウソウ  
(キキョウ科) ⑬

北米産の1年生の帰化植物で、春から夏にかけて紫色の花を咲かせます。